



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW63

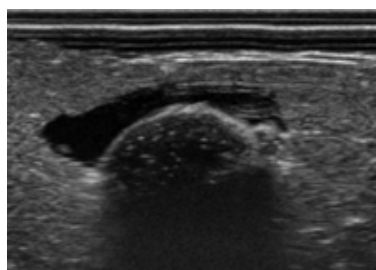
褥瘡シミュレータ

(フルセット・ベーシックセット)

取扱説明書

目次

- はじめに
製品の特長とご使用上の注意…………… P. 1
- ご使用の前に
ご使用前の確認…………… P. 2
- 準 備
褥瘡の部位と種類…………… P. 3
仙骨部褥瘡パッドの交換…………… P. 4
坐骨部褥瘡のパッド交換…………… P. 5
模擬壊死組織による創部の再現…………… P. 6
- 実習
褥瘡部ケア…………… P. 7
デブリードマン…………… P. 8
エコーによる創部の観察…………… P. 9
- 後片づけ
洗浄と保管…………… P. 10



はじめに

この度は「褥瘡シミュレータ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、褥瘡ケアの上達を目的としたモデルです。医学、看護教育の実習教材としてご使用ください。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特 長

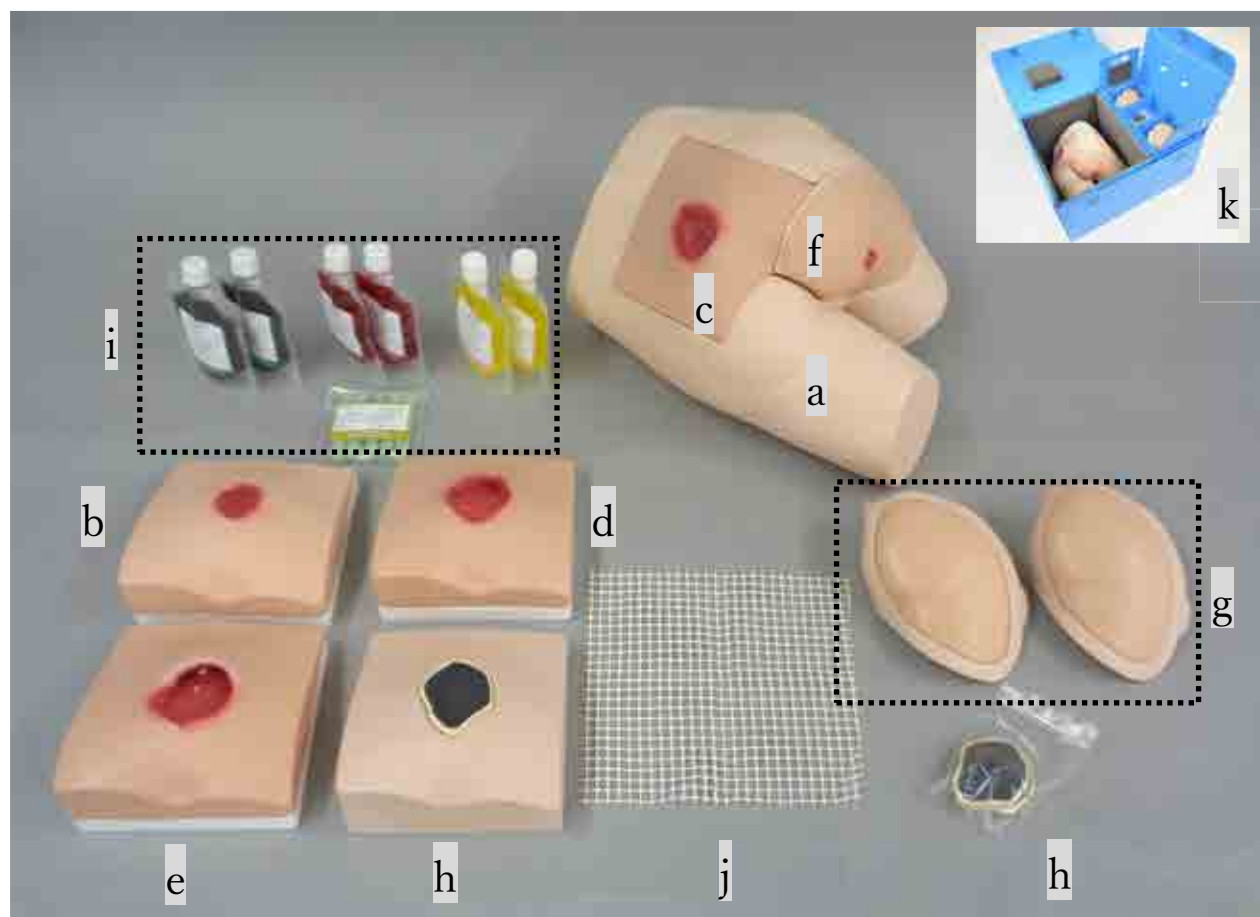
- 褥瘡ケアの基本的手技を学ぶことができます。
- 坐骨部褥瘡が観察しやすい肢位がとれる股関節の角度にしています。
- 模擬血液、模擬膿、模擬滲出液、模擬壊死組織を使用することで、評価や洗浄、除去のトレーニングが行えます。
- 仙骨部も坐骨部のモデルとも、創を介してもしくは皮膚直上からの触診にて、それぞれ仙骨と坐骨を触れることができます。
- エコーで褥瘡の評価を行うことができます。(フルセットのみ)
- 黄色壊死・黒色壊死のデブリードマンのトレーニングができます。(フルセットのみ)

注 意

- | | |
|--|---|
| ● 取り扱いにご注意ください。
落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。 | ● 印刷物をモデル表面に置かないでください。
モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。 |
| ● 仙骨部褥瘡パッドおよび坐骨部褥瘡パッド以外の部品には書き込みをしないでください。
ボールペン、サインペンなどで書き込むとインクが吸収されて消えなくなります。 | ● 汚れは水又は中性洗剤で拭き取ってください。
モデル本体の汚れは水又は中性洗剤で拭き取り、よく乾燥させてベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。 |
| ● 高温多湿を避けて保管してください。
使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。 | ● 表面が変色する場合があります。
長期間使用されていない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。 |
| ● ご使用後は水分を拭き取ってください。
ご使用後は本体、付属品の水分をしっかりと拭き取り、乾燥させて保管してください。乾燥が不足した状態での保管は、カビの発生や破損の原因になります。 | ● 薬剤の使用について。
褥瘡のケア用の薬剤を本シミュレータに使用されますとシミュレータの樹脂と反応したり塗装が剥げたりすることがございます。 |

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



a. 成人腰部モデル…………… 1 点

○仙骨部褥瘡パッド

b. ステージⅡ（真皮の欠損）…………… 1 点

c. ステージⅢ（全層組織欠損）…………… 1 点

※腰部モデルにセット済

d. ステージⅣ（肉芽あり）筋・腱・骨の露出を伴う…………… 1 点

e. ステージⅣ（ポケットあり）筋・腱・骨の露出を伴う… 1 点

○坐骨部褥瘡パッド

f. ステージⅣ…………… 1 点 ※腰部モデルにセット済

g. エコーパッド 2 種セット …… 1 ※フルセットのみ

h. 黒色壊死組織の除去セット…… 1 式

・ 黒色壊死組織の除去ベース× 1 ※フルセットのみ

・ 黒色壊死組織の除去パッド× 4 ※フルセットのみ

j. 滑り止めシート…………… 1 枚 ※フルセットのみ

i. 消耗品セット…………… 1 式

・ 模擬膿× 2

・ 模擬血液× 2

・ 模擬滲出液× 2

・ 模擬壊死組織× 1 式

k. 収納ケース…………… 1 式

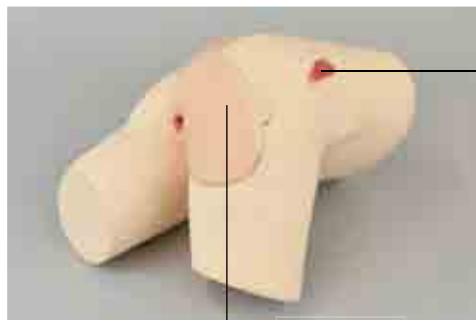
創瘡パッドの種類

褥瘡パッドは、仙骨部4種類（フルセットは5種類）と坐骨部1種類（フルセットはエコーパッド2種を含めて計3種類）を実習目的に応じて交換することができます。（大転子部の褥瘡は取り外しできません）

仙骨部も坐骨部のモデルとも、創を介してもしくは皮膚直上からの触診にて、それぞれ仙骨と坐骨を触れることができます。



仙骨部



坐骨部

大転子部

（交換できません）



ステージⅡ
真皮の欠損



ステージⅢ
全層組織欠損



ステージⅣ
全層組織欠損（肉芽あり）
筋・腱・骨の露出を伴う



ステージⅣ
全層組織欠損（ポケットあり）
筋・腱・骨の露出を伴う

○仙骨部黒色壊死組織
（フルセットのみ）



○坐骨部褥瘡



皮下組織を越える損傷

○坐骨部超音波パッド
（フルセットのみ）



「正常」「水腫」

○大転子部
（取り外しできません）

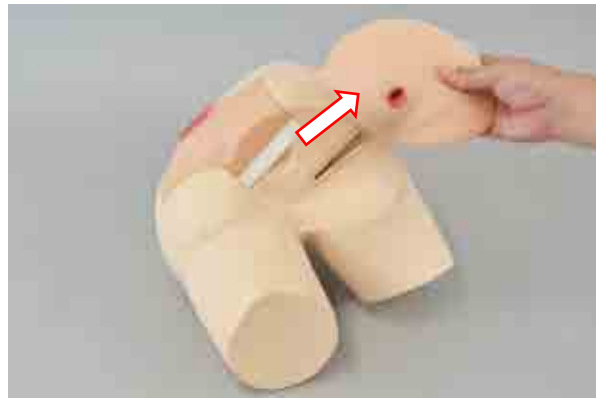


全層組織欠損

仙骨部褥瘡パッドの交換

1、坐骨部褥瘡パッドの取り外し

先に腰部モデルの凹み（○印）に指を入れ右側へスライドさせて坐骨部褥瘡パッドを取り外します。



2、仙骨部褥瘡パッドを交換

腰部モデルの凹み（○印）に指を入れ、持ち上げて別の仙骨部褥瘡パッドに交換します。



3、坐骨部褥瘡パッドを戻す

最初に取り外した坐骨部褥瘡パッドを元に戻し、次に仙骨部褥瘡パッドを戻して交換は完了です。

※腰部モデル側に溝（○印）がありますので、坐骨部褥瘡パッド裏面の凸部を合わせてセットします。



超音波パッドへの交換

坐骨部褥瘡パッドは、エコーを用いた皮下軟部組織が観察できるエコーパッド（フルセットのみ）に変更することができます。

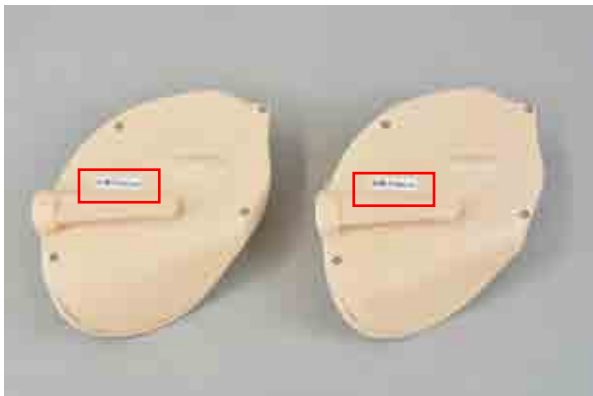
1、坐骨部褥瘡パッドの取り外し

腰部モデルの凹部（○印）に指を入れ、右方向にスライドさせて取り外します。



2、超音波パッドの取り付け

超音波パッドには「正常」と「水腫」の2種類がありますので、裏面の（□部分）を確認し、使用するパッドを取り付けます。※腰部モデル側にガイドとなる溝がありますので、超音波パッド裏面の凸部を合わせてセットしてください。



創部の再現

仙骨部、坐骨部の褥瘡パッドは、付属の創部再現キット（模擬血液、模擬膿、模擬滲出液、模擬黄色壊死組織）を使うことで、よりリアルな褥瘡部を再現することができます。

1、模擬壊死組織の保護シートを除去する

模擬壊死組織は粘着性の高い材料であるため保護シートに包んだ状態で提供しています。
ご使用の際は保護シートに包んだままハサミで必要量を切り取ったのち模擬壊死組織を取り出してください。



2、模擬壊死組織を付ける

指などで、模擬壊死組織を褥瘡部に貼り付けて形状を整えます。

※ご注意

- ・皮膚の弱い方は手袋を着用してください。
- ・創部が模擬血液、模擬膿、模擬滲出液で濡れていると、模擬壊死組織が密着しません。水分を拭き取り、模擬壊死組織を貼り付けてから模擬血液などを使用してください。



3、着色

付属の模擬血液、模擬膿、模擬滲出液を使用し創部を再現します。

※ご注意

- ・衣服に付着すると吸収する場合がありますので、褥瘡パッドは腰部モデルに取り付けた状態で着色してください。



褥瘡ケア

1、褥瘡の評価

- ・仙骨部では、ステージⅡ～Ⅳまでを再現しており、スケールに沿った客観的評価を行う事ができます。
- ・DESIGN-R® 2020 を用いた評価では、ステージの異なるパッドと瘡部再現キットを組み合わせて7項目すべてをトレーニングできます。

2、創周囲の洗浄

- ・水もしくは微温湯を、また洗浄剤は人体に使用するものと同等のものをご使用ください。
- ・実習後は洗浄剤を洗い落とし、褥瘡パッド及び腰部モデルを乾燥させてください。



3、ポケットの計測

- ・人体に使用するものと同等の器具を使用してポケットの深さを計測できます。

※ご注意

- ・計測時ポケット内部に無理な力が掛からないようにご注意ください。
褥瘡パッドが破損する原因になります。
- ・ポケットのサイズを評価する際に、**仙骨部褥瘡パッドの範囲内にマジックペンなどでマーキングすることができますが、長時間放置されますと消えなくなりますので、実習後は速やかにウエットティッシュなどで拭き取ってください。**
- ・**仙骨部褥瘡パッド及び坐骨部褥瘡御パッド以外の本体や部品に対してマジックペンを絶対に使用しないでください。**
インクが取れなくなります。



4、ドレッシング材の貼付

- ・ドレッシング材等を使用する際は、褥瘡パッド表面のほこりなどをきれいに拭き取ってください。



※仙骨部も坐骨部のモデルとも、創を介した触診にて、それぞれ仙骨と坐骨を触れることができます。

黒色壊死組織除去パッドの準備

褥瘡シミュレータフルセットの構成品で、外科的デブリードマンの実習を行うことができます。
別売部品としてご購入いただく事も可能です。

1、黒色壊死組織除去パッドの準備

黒色の壊死組織除去パッドとベースは、マジックテープで着脱することができます。

黒色壊死組織の除去パッドは消耗品になりますので必要に応じて交換してください。

パッドの交換は、ベースに押し付けるように装着してください。



2、除去ベースの固定

除去ベースを机などに置いて実習する場合は、付属の滑り止めシートをご使用ください。

パッドを腰部モデル本体に装着する事で、より臨場感のある演習を行うことができます。



黒色壊死組織の切除

パッドは「黒色壊死組織」「黄色壊死組織」「皮下組織」の三層構造になっています。

実習では、壊死組織と正常皮膚の境界を確認し、黒色壊死組織を、メス、ハサミ等で切除することができます。



エコーによる創の観察

褥瘡シミュレータフルセットの構成品で、お手持ちの超音波装置を使って「正常」と「水腫」の2種類について深部組織の観察をトレーニングできます。

エコーパッドの確認と交換方法についてはP5をご確認ください。

1、使用するエコー装置について

エコー装置、エコー用ゼリーは、人体に使用するものをご使用いただけます。

エコー装置のプロブは、リニア型（5～12Hz）をご使用ください。

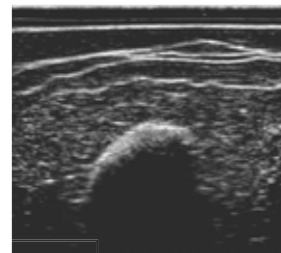


2、エコーによる深部組織の観察

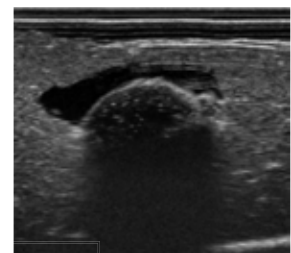
エコー装置でパッド内部を観察します。

超音波パッドは、正常な状態のパッドと、坐骨周辺部に滲出液がたまっている状態（水腫）の2種類があります。

それぞれの超音波パッドは、裏側の表示シールで識別してください。



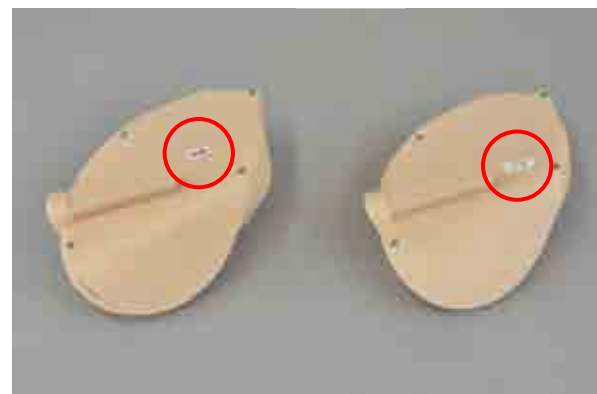
正常



水腫

※ご注意

坐骨部のパッドを取り付けたまま成人腰部モデル本体を傾けないでください。パッドが外れて落下や破損の原因になります。



※坐骨部のパッドは、皮膚直上からの触診で坐骨を触れることができます。

洗浄と保管

ベーシックセット、フルセット共通の内容です。

1、褥瘡パッドを取り外す

- ・腰部モデルの凹部に指を入れ、仙骨部と坐骨部の褥瘡パッドを取り外します。
- 各パッドの取り外し方はP 4を参照してください。



3、模擬血液、模擬膿、模擬滲出液の洗浄

- ・褥瘡パッド表面の模擬血液などは、ウェットティッシュでぬぐい取ります。残った模擬血液などは流水で洗い流し、洗浄後は十分に乾燥させてください。



5、エコーパッドの清拭

- ・エコーパッドの表面に残っているゼリーは、ウェットティッシュで拭き取り十分に乾燥させてください。



2、腰部モデルの水分を拭き取る

- ・付着した水分を布で拭き取り、汚れは中性洗剤を含ませた水等で拭き取ります。
 - ・褥瘡パッドの取り外し用凹部にたまった水分を拭き取ります。
- ※乾燥後にベビーパウダーを塗布することで、良好な状態に保つことができます。(ベビーパウダーは市販品もご利用いただけます。)



4、模擬壊死組織の除去

- ・パッド表面に水をつけながら指でこすると簡単に取り除く事ができます。
- ※皮膚の弱い方は手袋を着用して作業してください。



6、エコーパッドの清拭

- ・腰部モデル及び各パッドが乾燥していることを確認し、梱包ケースに収納して保管してください。





注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

- ・本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。

■消耗品

コード番号	部品名
11446-010	消耗品セット(模擬膿/模擬血液/模擬滲出液/模擬壊死組織)
11446-020	模擬膿(液体) 2個組各100m l
11446-030	模擬滲出液(液体) 2個組各100m l
11446-040	模擬血液(液体) 2個組各100m l
11446-050	模擬壊死組織 1個組各50 g

■別売部品

コード番号	部品名
11446-200	壊死組織の除去セット
11446-210	壊死組織の除去ベース
11446-220	壊死組織の除去パッド4個組
11446-070	エコーパッド2種セット(正常/水腫)



株式
会社

京都科学

URL・<http://www.kyotokagaku.com> e-mail・rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL: 075-605-2510 (直通)
FAX: 075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL: 03-3817-8071 (直通)
FAX: 03-3817-8075

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部もしくは全部を当社に無断で複写・転載することを禁じます。

本書の内容に、万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、当社もしくは販売店にご連絡ください。